

富山県内の中小企業動向調査

ファーストTrend

2023年10月号

CONTENTS

1. 中小企業動向調査 [2023年7～9月実績/10～12月見込/2024年1～3月予測]
 2. 富山県内の中小企業の事業承継への取組状況について
-

中小企業動向調査（2023年9月末日基準）

この調査は、富山県内企業343社からのアンケート結果をまとめたものです。

企業の調査資料として、2023年7月～9月の実績、2023年10月～12月の見込、2024年1月～3月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
343（646）
うち、製造業72社、非製造業271社

調査時期：2023年10月

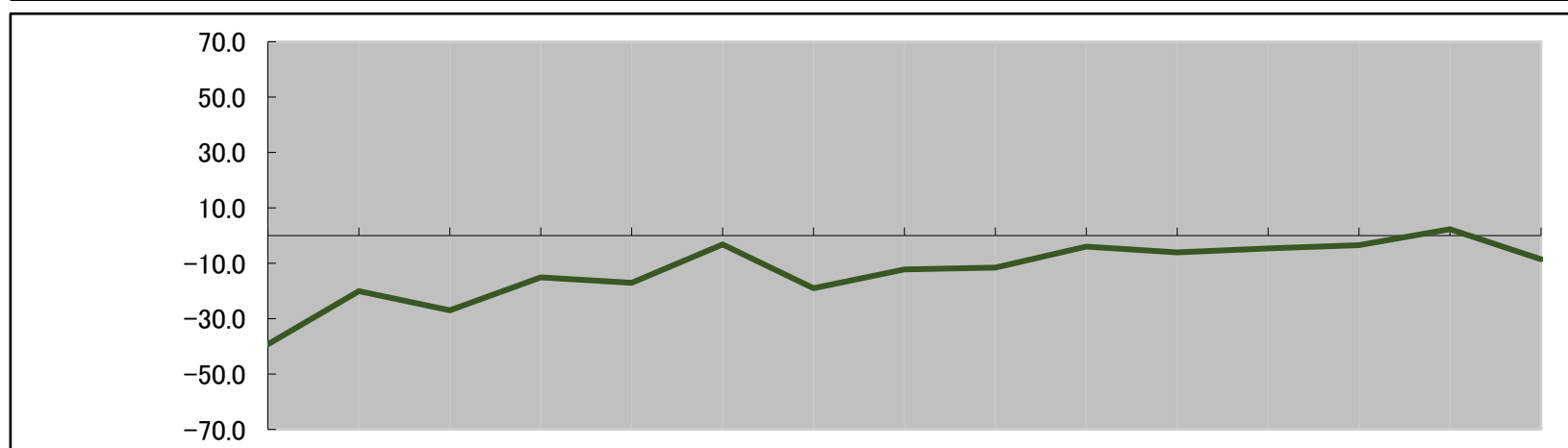
方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

日本銀行富山事務所が2023年11月に公表した「富山県金融経済クォーター2023年秋」によると、「富山県の景気は緩やかに回復している。最終需要を見ると、個人消費は物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。住宅投資は、減少している。設備投資は増加している。～（抜粋）当地製造業の生産は、弱含んでいる。業種別に見ると、電気機械は、低水準で横ばい圏内の動きとなっている。医薬品を中心とする化学は、横ばい圏内の動きとなっている。金属製品は、弱めの動きとなっている。汎用・生産用・業務用機械は弱含んでいる」とあります。今回のアンケート結果からもわかるように、製造業・非製造業ともに業況については、改善傾向が見られているものの、依然として原材料高、人材不足等を要因とする先行き不透明さも見え隠れしています。

I. 企業業況

(小数点第2位を四捨五入)

種別	期別	（%）															見込	予測	
		2020		2021				2022				2023							2024
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
良	い	11.8	16.8	14.1	17.3	15.4	22.0	17.4	17.2	16.3	22.6	20.7	20.5	20.4	19.5	12.2			
普	通	37.1	46.4	44.8	50.4	52.1	52.8	46.2	53.5	55.8	50.9	52.4	54.3	55.7	63.3	67.1			
悪	い	51.1	36.8	41.1	32.4	32.5	25.2	36.4	29.4	27.9	26.5	26.9	25.1	23.9	17.2	20.7			
D . I .		-39.2	-20.0	-27.0	-15.1	-17.1	-3.2	-19.0	-12.2	-11.6	-4	-6.1	-4.6	-3.5	2.3	-8.5			



富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、マイナス3.5となり、前回より1.1ポイント改善しました。先行きについては、10月～12月は回復傾向となっていますが、2024年1月～3月は再び悪化傾向となる予想です。中国景気下振れリスクや個人消費の天井感を懸念する声がありました。

I. 企業業況（続き）

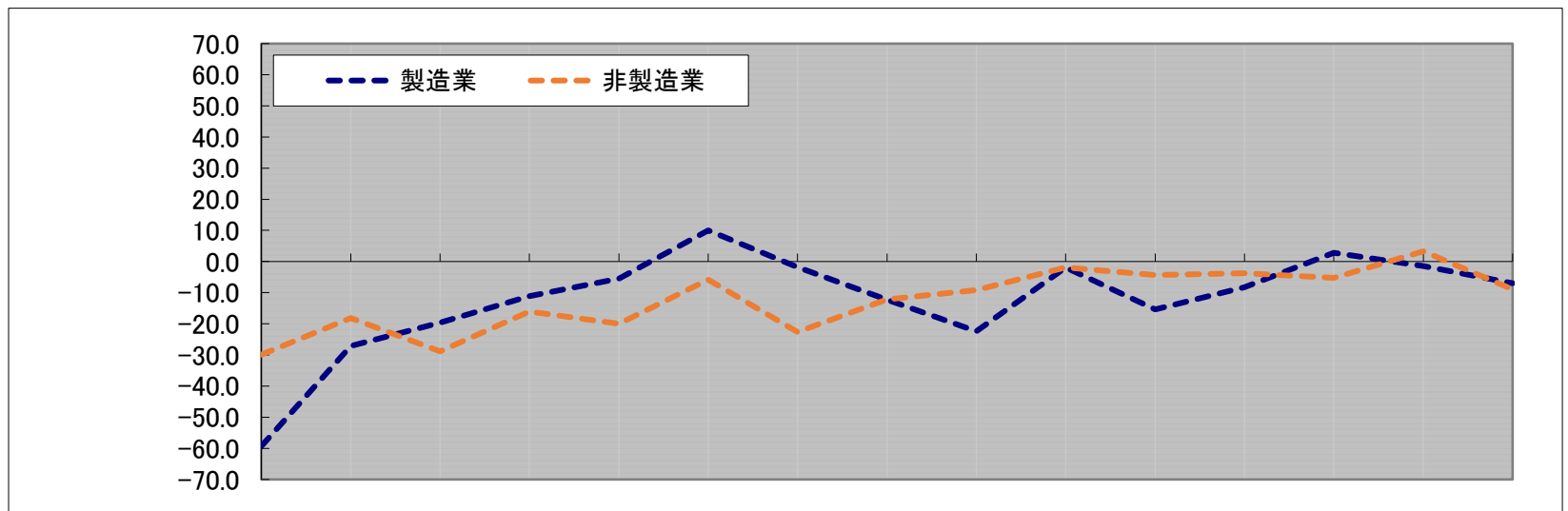
企業業況の推移……（うち製造業のみ）

（小数点第2位を四捨五入）

		（%）															見込	予測
		2020		2021				2022				2023				2024		
		7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
良	い	8.5	20.3	17.6	20.4	23.6	36.7	30.9	24.6	15.5	26.4	25.0	21.9	30.6	22.2	9.7		
普	通	23.7	32.2	45.1	48.1	47.3	36.7	36.4	38.6	46.6	45.3	34.6	47.9	41.7	54.2	73.6		
悪	い	67.8	47.5	37.3	31.5	29.1	26.7	32.7	36.8	37.9	28.3	40.4	30.1	27.8	23.6	16.7		
D . I .		-59.3	-27.1	-19.6	-11.1	-5.5	10.0	-1.8	-12.3	-22.4	-1.9	-15.4	-8.2	2.8	-1.4	-7.0		

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）															見込	予測
		2020		2021				2022				2023				2024		
		7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
良	い	13.4	15.8	13.2	16.5	13.3	19.2	14.6	15.7	16.5	21.8	19.8	20.2	17.7	18.8	12.9		
普	通	43.3	50.2	44.7	50.9	53.3	55.9	48.3	56.4	57.9	52.0	56.0	55.9	59.4	65.7	65.3		
悪	い	43.3	33.9	42.1	32.6	33.3	24.9	37.2	27.9	25.7	26.2	24.1	23.9	22.9	15.5	21.8		
D . I .		-29.9	-18.1	-28.9	-16.1	-20.0	-5.8	-22.6	-12.2	-9.2	-1.9	-4.3	-3.7	-5.2	3.3	-8.9		



製造業と非製造業に分けて見ると、製造業の業況判断指数D.I.は、プラス2.8となり、前回より11.0ポイントの大幅な改善となりました。非製造業ではマイナス5.2となり、前回より1.5ポイント悪化しました。製造業では10月以降、悪化予想となっており業況D.I.はマイナスとなる予想です。非製造業は10月~12月に向けて改善予想となっていますが、2024年1月~3月は悪化予想となっており業況D.I.はマイナスとなる予想です。

II. 売上高状況

(小数点第2位を四捨五入)

売上高状況の推移…… (全産業)

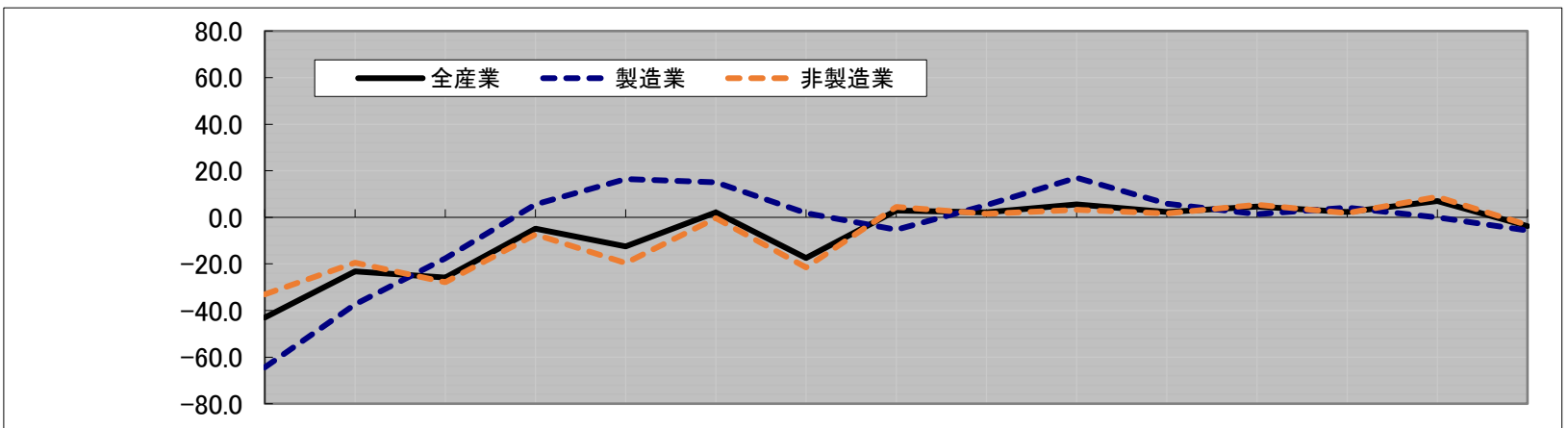
		売上高状況の推移…… (全産業)															見込		予測								
		2020						2021						2022						2023						2024	
		7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~							
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月							
増	加	14.0	20.0	17.7	24.6	20.0	28.4	16.8	27.6	25.7	27.7	26.5	27.6	27.1	24.8	18.4											
横	ばい	29.0	36.8	38.7	46.0	47.5	45.3	49.1	47.7	50.8	50.0	49.2	49.5	48.1	57.4	59.5											
減	少	57.0	43.2	43.5	29.4	32.5	26.3	34.2	24.7	23.5	22.3	24.3	23.0	24.8	17.8	22.2											
D .	I .	-43.0	-23.2	-25.8	-4.8	-12.5	2.1	-17.4	2.9	2.2	5.5	2.3	4.6	2.3	7.0	-3.8											

売上高状況の推移…… (うち製造業のみ)

		売上高状況の推移…… (うち製造業のみ)															見込		予測								
		2020						2021						2022						2023						2024	
		7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~							
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月							
増	加	5.1	15.3	23.5	29.6	30.9	40.0	27.3	24.6	32.8	37.7	34.6	28.8	33.3	25.0	12.5											
横	ばい	25.4	32.2	35.3	46.3	54.5	35.0	47.3	45.6	39.7	41.5	36.5	43.8	37.5	50.0	69.4											
減	少	69.5	52.5	41.2	24.1	14.5	25.0	25.5	29.8	27.6	20.8	28.8	27.4	29.2	25.0	18.1											
D .	I .	-64.4	-37.3	-17.6	5.6	16.4	15.0	1.8	-5.3	5.2	17.0	5.8	1.4	4.2	0.0	-5.6											

売上高状況の推移…… (うち非製造業のみ)

		売上高状況の推移…… (うち非製造業のみ)															見込		予測								
		2020						2021						2022						2023						2024	
		7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~							
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月							
増	加	18.1	21.3	16.2	23.4	17.3	26.2	14.6	28.2	24.1	25.8	24.9	27.3	25.5	24.7	19.9											
横	ばい	30.7	38.0	39.6	45.9	45.8	47.3	49.4	48.1	53.3	51.6	51.8	50.8	50.9	59.4	56.8											
減	少	51.2	40.7	44.2	30.7	36.9	26.5	36.0	23.7	22.6	22.5	23.3	21.9	23.6	15.9	23.2											
D .	I .	-33.1	-19.5	-27.9	-7.3	-19.6	-0.3	-21.5	4.5	1.5	3.3	1.6	5.4	1.9	8.8	-3.3											



売上高D.I.は全産業ではプラス2.3となり、前回より2.3ポイント悪化しました。10月～12月も売上高D.I.はプラス圏内に留まる予想となっています。2024年1月～3月はマイナスになる予想となっています。

製造業と非製造業に分けて見ると、製造業ではプラス4.2となり、前回比で2.8ポイント改善しました。10月～12月の予想では0.0となっており、10月～12月はプラス幅が減少、2024年1月～3月はマイナスになる予想となっています。非製造業はプラス1.9となり、前回比で3.5ポイント悪化しました。10月～12月は改善予想であるものの、2024年1月～3月はマイナスになる予想となっています。

Ⅲ. 製品在庫水準

(小数点第2位を四捨五入)

製品在庫水準の推移…… (全産業) (%) 見込 予測

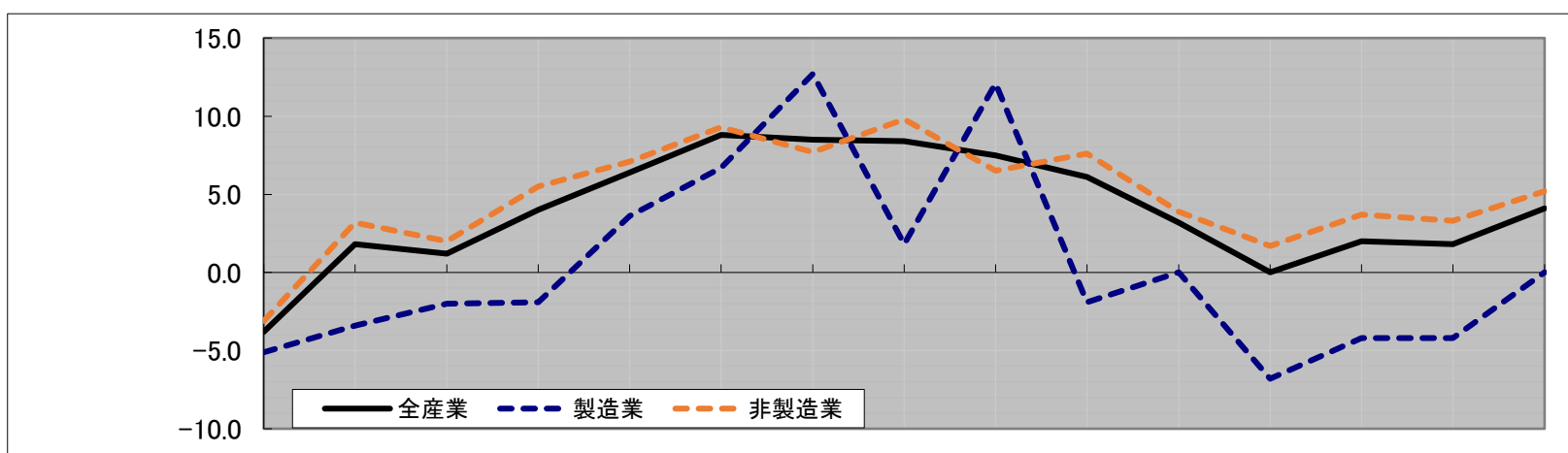
	2020		2021				2022				2023				2024
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
不足	7.5	7.9	8.5	10.3	12.1	12.3	13.3	13.1	13.2	11.0	9.7	7.8	9.0	7.9	8.2
適正	81.2	86.1	84.3	83.5	82.1	84.2	82.0	82.3	81.2	84.1	83.8	84.3	84.0	86.0	87.8
過剰	11.3	6.1	7.3	6.3	5.7	3.5	4.7	4.7	5.6	4.9	6.5	7.8	7.0	6.1	4.1
D . I .	-3.8	1.8	1.2	4.0	6.4	8.8	8.5	8.4	7.5	6.1	3.2	0.0	2.0	1.8	4.1

製品在庫水準の推移…… (うち製造業のみ) (%) 見込 予測

	2020		2021				2022				2023				2024
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
不足	5.1	5.1	7.8	7.4	12.7	10.0	16.4	10.5	19.0	11.3	15.4	8.2	8.3	8.3	6.9
適正	84.7	86.4	82.4	83.3	78.2	86.7	80.0	80.7	74.1	75.5	69.2	76.7	79.2	79.2	86.1
過剰	10.2	8.5	9.8	9.3	9.1	3.3	3.6	8.8	6.9	13.2	15.4	15.1	12.5	12.5	6.9
D . I .	-5.1	-3.4	-2.0	-1.9	3.6	6.7	12.7	1.8	12.1	-1.9	0.0	-6.8	-4.2	-4.2	0.0

製品在庫水準の推移…… (うち非製造業のみ) (%) 見込 予測

	2020		2021				2022				2023				2024
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
不足	8.7	8.6	8.6	11.0	12.0	12.8	12.6	13.6	11.9	10.9	8.6	7.7	9.2	7.7	8.5
適正	79.5	86.0	84.8	83.5	83.1	83.7	82.4	82.6	82.8	85.8	86.8	86.2	85.2	87.8	88.2
過剰	11.8	5.4	6.6	5.5	4.9	3.5	5.0	3.8	5.4	3.3	4.7	6.1	5.5	4.4	3.3
D . I .	-3.1	3.2	2.0	5.5	7.1	9.3	7.7	9.8	6.5	7.6	3.9	1.7	3.7	3.3	5.2



製品在庫水準D.I.はプラス2.0となり前环比2.0ポイント改善となりました。
 製造業はマイナス4.2と前环比で2.6ポイント改善となりました。10月～12月は横ばい、2024年1月～3月は改善予想です。非製造業はプラス3.7と前环比で2.0ポイント改善となりました。10月～12月はプラス幅が減少、2024年1月～3月はプラス幅が増加していく予想です。

IV. 資金繰り状況

(小数点第2位を四捨五入)

資金繰り状況の推移…… (全産業)

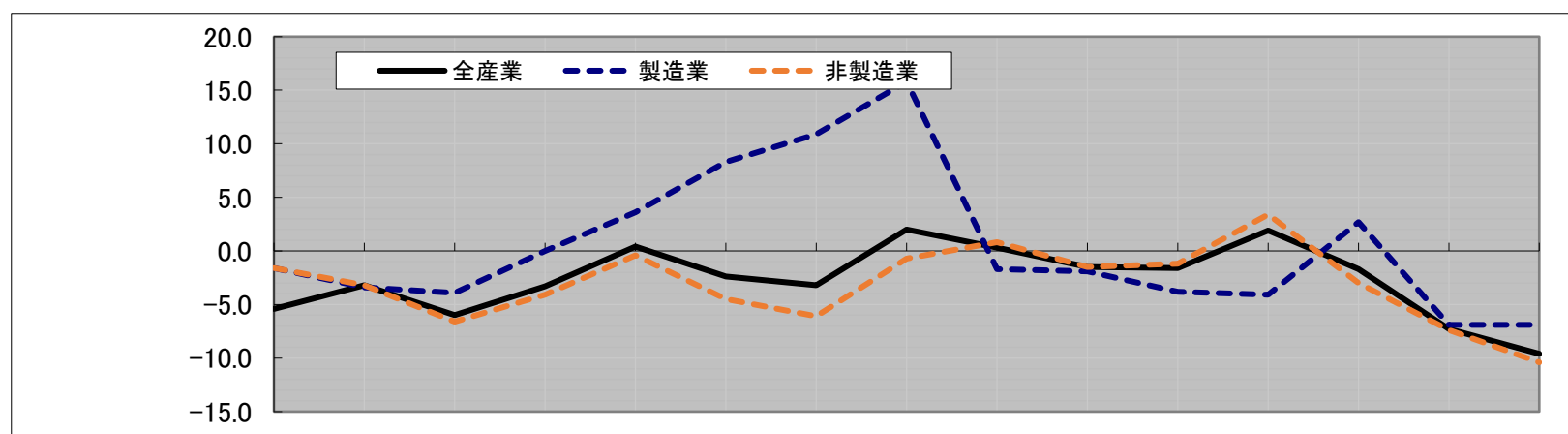
	(%)															見込	予測
	2020		2021				2022				2023				2024		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
ゆるい	15.1	13.2	13.3	14.0	16.8	13.4	15.8	16.9	15.0	14.9	16.8	14.3	14.3	11.1	11.4		
普通	64.5	70.4	67.3	68.8	66.8	70.8	65.2	68.3	70.2	68.6	64.7	73.2	69.7	70.6	67.6		
厳しい	20.4	16.4	19.4	17.3	16.4	15.8	19.0	14.8	14.7	16.5	18.4	12.4	16.0	18.4	21.0		
D . I .	-5.4	-3.2	-6.0	-3.3	0.4	-2.4	-3.2	2.0	0.3	-1.5	-1.6	1.9	-1.7	-7.3	-9.6		

資金繰り状況の推移…… (うち製造業のみ)

	(%)															見込	予測
	2020		2021				2022				2023				2024		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
ゆるい	6.8	15.3	11.8	14.8	18.2	20.0	21.8	21.1	12.1	7.5	13.5	12.3	12.3	8.2	6.8		
普通	72.9	66.1	72.5	70.4	67.3	68.3	67.3	73.7	74.1	83.0	69.2	71.2	78.1	76.7	79.5		
厳しい	20.3	18.6	15.7	14.8	14.5	11.7	10.9	5.3	13.8	9.4	17.3	16.4	9.6	15.1	13.7		
D . I .	-1.6	-3.4	-3.9	0.0	3.6	8.3	10.9	15.8	-1.7	-1.9	-3.8	-4.1	2.7	-6.9	-6.9		

資金繰り状況の推移…… (うち非製造業のみ)

	(%)															見込	予測
	2020		2021				2022				2023				2024		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
ゆるい	18.9	12.7	13.7	13.8	16.4	12.1	14.6	16.0	15.7	16.4	17.5	14.8	14.8	11.9	12.6		
普通	60.6	71.5	66.0	68.3	66.7	71.2	64.8	67.2	69.3	65.8	63.8	73.7	67.4	68.9	64.4		
厳しい	20.5	15.8	20.3	17.9	16.9	16.6	20.7	16.7	14.9	17.8	18.7	11.4	17.8	19.3	23.0		
D . I .	-1.6	-3.2	-6.6	-4.1	-0.4	-4.5	-6.1	-0.7	0.8	-1.5	-1.2	3.4	-3.0	-7.4	-10.4		



資金繰り状況D.I.は全産業でマイナス1.7と前回比3.6ポイント悪化しています。製造業においてはプラス2.7と前回比6.8ポイント改善しています。10月以降の見込ではマイナス6.9となり悪化を予想しています。非製造業はマイナス3.0と前回比6.4ポイント悪化しています。10月以降はマイナス7.4とマイナス幅は拡大していくと予想しています。全産業において、引続き、原材料高、人件費高騰等コスト増加が影響していると考えられます。

V. 利益状況

(小数点第2位を四捨五入)

利益状況の推移…… (全産業)

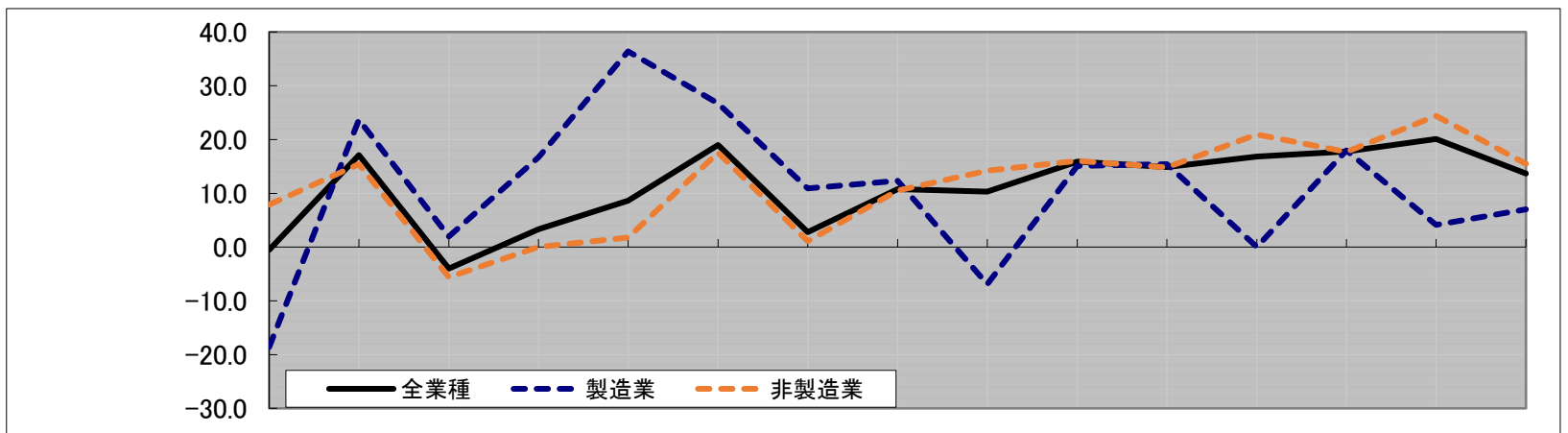
	利益状況の推移…… (全産業) (%)															見込	予測
	2020		2021				2022				2023				2024		
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
黒字	33.9	44.6	31.5	34.2	38.6	42.9	36.7	34.6	35.4	42.4	39.8	40.0	39.1	34.4	31.2		
収支トントン	31.7	27.9	33.1	34.9	31.4	33.2	29.4	41.6	39.5	31.1	35.3	63.8	39.7	51.3	51.3		
償却後赤字	34.4	27.5	35.5	30.9	30.0	23.9	33.9	23.8	25.1	26.5	24.9	23.2	21.3	14.3	17.5		
D . I .	-0.5	17.1	-4.0	3.3	8.6	19.0	2.8	10.8	10.3	15.9	14.9	16.8	17.8	20.1	13.7		

利益状況の推移…… (うち製造業のみ)

	利益状況の推移…… (うち製造業のみ) (%)															見込	予測
	2020		2021				2022				2023				2024		
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
黒字	25.4	54.2	39.2	42.6	54.5	55.0	41.8	38.6	29.3	41.5	46.2	31.5	45.8	31.9	26.4		
収支トントン	30.5	15.3	23.5	31.5	27.3	16.7	27.3	35.1	34.5	32.1	23.1	37.0	26.4	40.3	54.2		
償却後赤字	44.1	30.5	37.3	25.9	18.2	28.3	30.9	26.3	36.2	26.4	30.8	31.5	27.8	27.8	19.4		
D . I .	-18.6	23.7	2.0	16.7	36.4	26.7	10.9	12.3	-6.9	15.1	15.4	0.0	18.0	4.1	7.0		

利益状況の推移…… (うち非製造業のみ)

	利益状況の推移…… (うち非製造業のみ) (%)															見込	予測
	2020		2021				2022				2023				2024		
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
黒字	37.8	42.1	29.4	32.1	34.7	40.6	35.6	33.8	36.8	42.5	38.5	42.1	37.3	35.1	32.5		
収支トントン	32.3	31.2	35.5	35.8	32.4	36.4	29.9	42.9	40.6	30.9	37.7	36.7	43.2	54.2	50.6		
償却後赤字	29.9	26.7	35.0	32.1	32.9	23.0	34.5	23.3	22.6	26.5	23.7	21.2	19.6	10.7	17.0		
D . I .	7.9	15.4	-5.6	0.0	1.8	17.6	1.1	10.5	14.2	16.0	14.8	20.9	17.7	24.4	15.5		



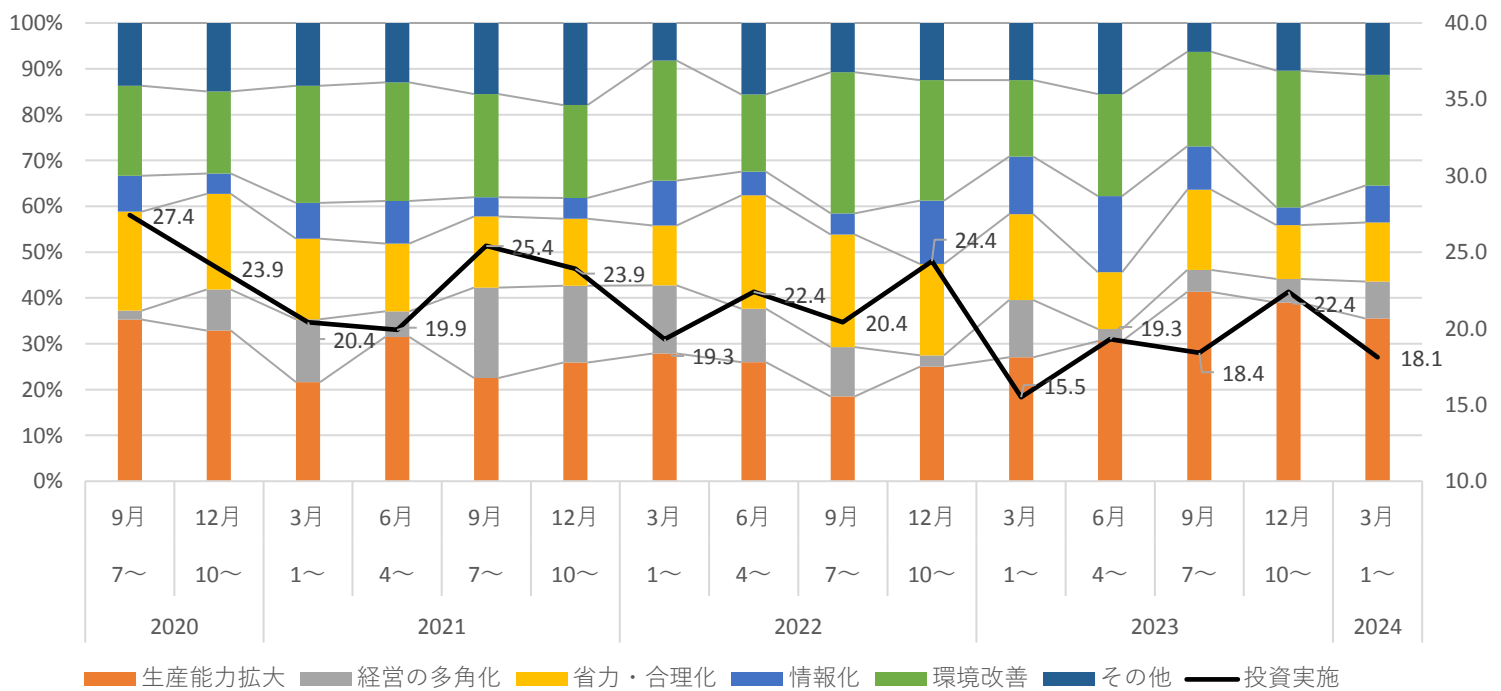
全産業の利益状況D.I.はプラス17.8と前回比1.0ポイントの改善となっています。製造業では18.0と前回比18.0ポイントの改善、非製造業ではプラス17.7と前回比3.2ポイントの悪化となっています。

VI. 設備投資動向

(小数点第2位を四捨五入)

	見込														予測
	2020		2021				2022				2023				2024
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
投資実施	27.4	23.9	20.4	19.9	25.4	23.9	19.3	22.4	20.4	24.4	15.5	19.3	18.4	22.4	18.1
投資せず	72.6	76.1	79.4	80.1	74.6	76.1	80.7	77.6	79.6	75.6	84.5	80.5	81.6	77.6	81.9

	見込														予測
	2020		2021				2022				2023				2024
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
生産能力拡大	35.3	32.8	21.6	31.5	22.5	25.8	27.9	26.0	18.5	25.0	27.0	30.6	41.3	39.0	35.5
経営の多角化	2.0	9.0	13.7	5.6	19.7	16.8	14.8	11.7	10.8	2.5	12.5	2.6	4.8	5.2	8.1
省力・合理化	21.6	20.9	17.6	14.8	15.5	14.6	13.1	24.7	24.6	20.0	18.8	12.4	17.5	11.7	12.9
情報化	7.8	4.5	7.8	9.3	4.2	4.5	9.8	5.2	4.6	13.8	12.5	16.6	9.5	3.9	8.1
環境改善	19.6	17.9	25.5	25.9	22.5	20.2	26.2	16.9	30.8	26.3	16.7	22.3	20.6	29.9	24.2
その他	13.7	14.9	13.7	13.0	15.5	17.9	8.2	15.6	10.8	12.5	12.5	15.5	6.3	10.4	11.3



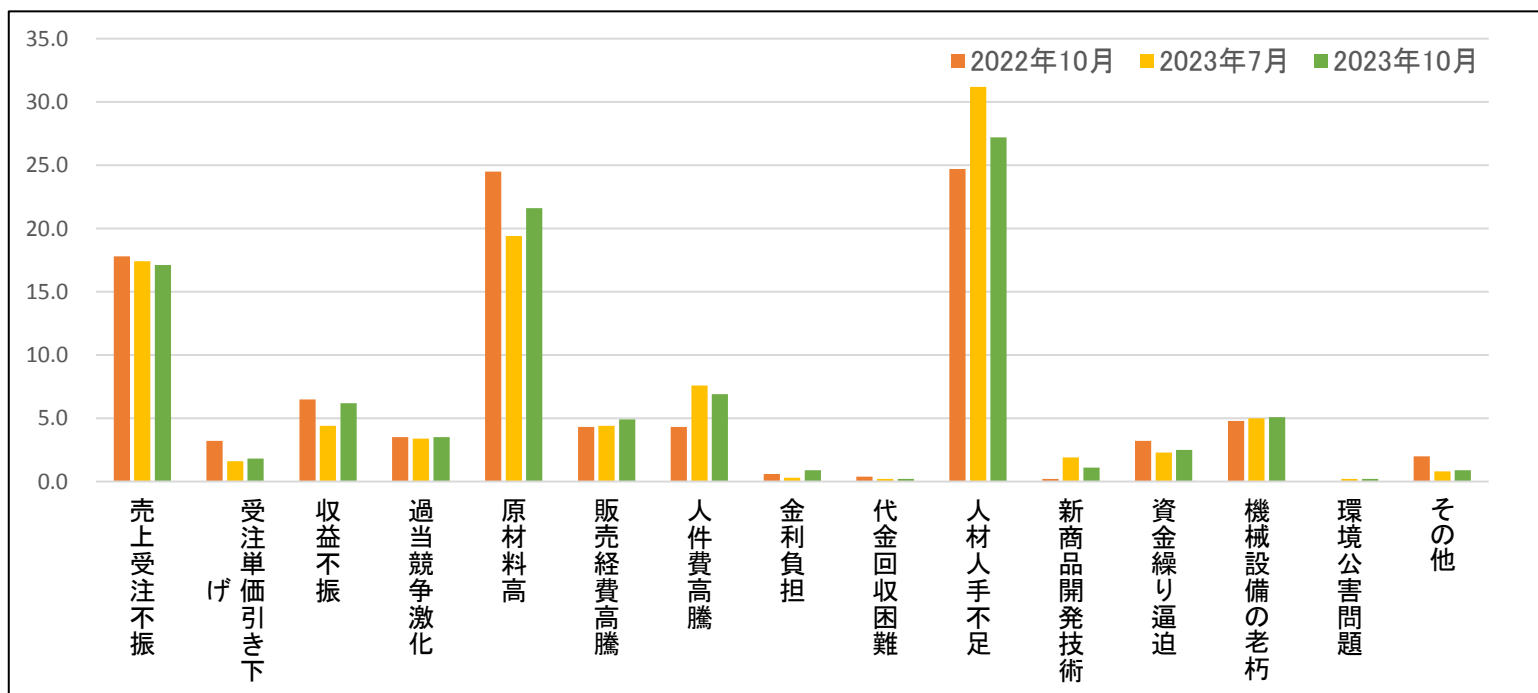
設備投資を実施した企業は18.4%となり、前回比0.9ポイント下降しています。10月以降の設備投資意欲は改善を予想しています。

設備投資を実施した目的については、「生産能力拡大」が41.3%となり前回比10.7ポイント上昇しました。「省力・合理化」が17.5%となり前回比5.1ポイント上昇しました。一方で、「情報化」については9.5%となり前回比7.1ポイント下降しました。「環境改善」については20.6%と前回比1.7ポイント下降しました。

Ⅶ. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり) (小数点第2位を四捨五入)

	2022年10月 (前年同月)	2023年7月 (前回)	2023年10月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	17.8	17.4	17.1	20.5	16.2	▲ 0.3
受注単価引き下げ	3.2	1.6	1.8	1.6	1.8	0.2
収益不振	6.5	4.4	6.2	8.7	5.5	1.8
過当競争激化	3.5	3.4	3.5	0.0	4.6	0.1
原材料高	24.5	19.4	21.6	20.5	21.9	2.2
販売経費高騰	4.3	4.4	4.9	3.9	5.2	0.5
人件費高騰	4.3	7.6	6.9	6.3	7.1	▲ 0.7
金利負担	0.6	0.3	0.9	0.8	0.9	0.6
代金回収困難	0.4	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0
人材人手不足	24.7	31.2	27.2	24.4	28.0	▲ 4.0
新商品開発技術	0.2	1.9	1.1	3.1	0.5	▲ 0.8
資金繰り逼迫	3.2	2.3	2.5	0.0	3.2	0.2
機械設備の老朽	4.8	5.0	5.1	9.4	3.9	0.1
環境公害問題	0.0	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0
その他	2.0	0.8	0.9	0.8	0.9	0.1



当面の経営上の問題点として前回より引続き「人材人手不足」が最も多く27.2%となっておりますが、前回比マイナス4.0ポイントとなっており改善傾向にあります。内訳を見ると、非製造業において前回調査時(33.4%)と比較し、改善しています。

次いで高い項目は「原材料高」の21.6%となります。前回比プラス2.2ポイントとなっており、再び上昇傾向にあり、今後の動向を注視する必要があります。

富山県内の中小企業の事業承継への取組状況について

回答企業数	343社（うち、製造業72社、非製造業271社）
調査企業数	646社
調査時期	2023年10月
調査方法	インターネットによる当行取引先へのアンケート実施 （中小企業動向調査と同時に実施）

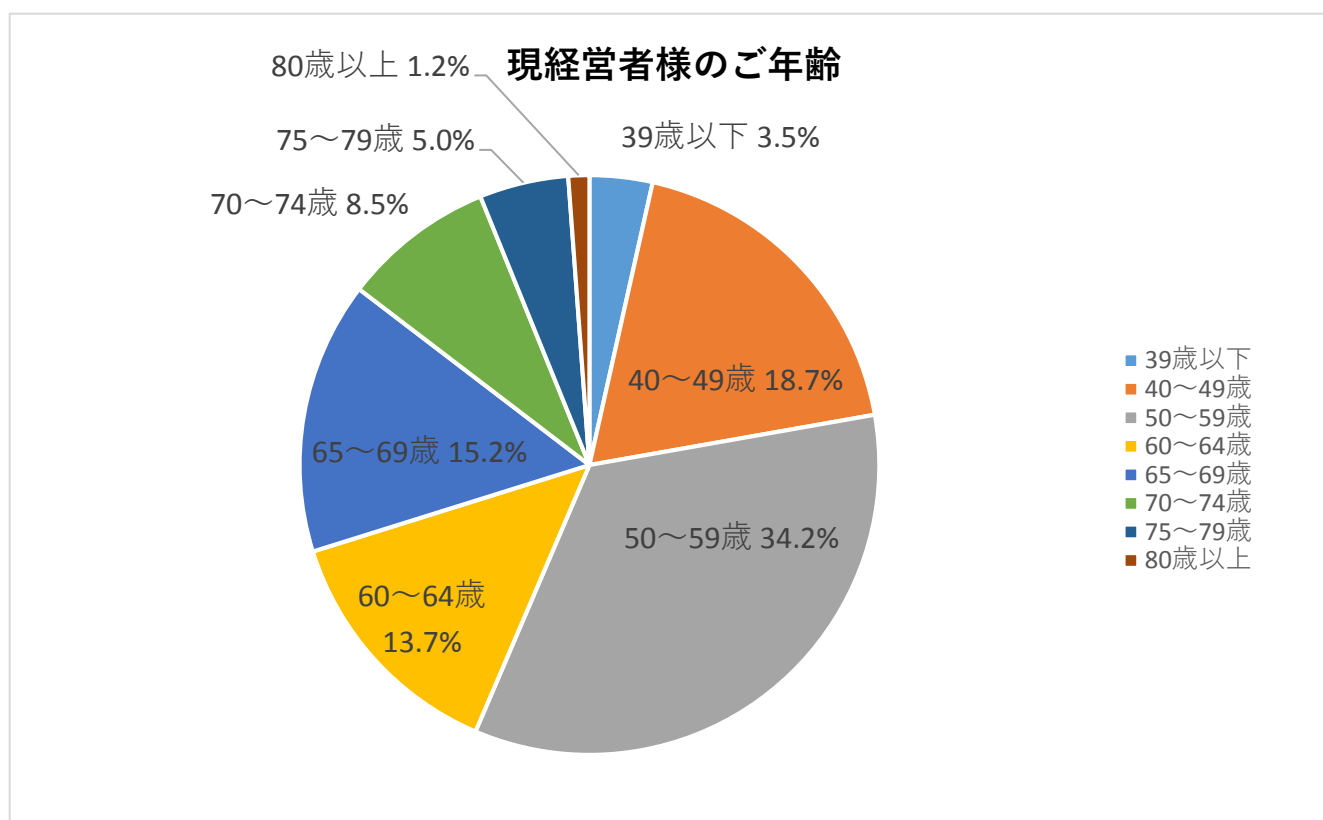
今回の事業承継に関するアンケートでは、事業承継課題に対する具体的な取組があまりされていない結果となりました。要因は後継者が未定であることが挙げられます。後継者が未定であるために、具体的な事業承継に対する取組が実施できていない企業が大半を占めています。

事業承継はどのような企業であっても必ず乗り越えなければならない大きな課題であります。単なる世代交代ではなく、先代が育ててきた事業を次の世代に引継ぎ、その後も継続的に企業が成長していくための1つのステップです。

人的承継（後継者の選定・育成、経営権・業務引継ぎ等）と物的承継（自社株式、事業用資産等）は準備から完了まで5年～10年の期間が必要と言われています。特に後継者の選定・育成、業務引継ぎに時間がかかることが想定されます。本アンケート結果でも、後継者の選定・育成、業務引継ぎに苦慮している企業が多い結果となりました。また、取引先から事業承継の相談を受けるケースもあることから、金融機関に対する事業承継支援体制の更なる強化が求められています。

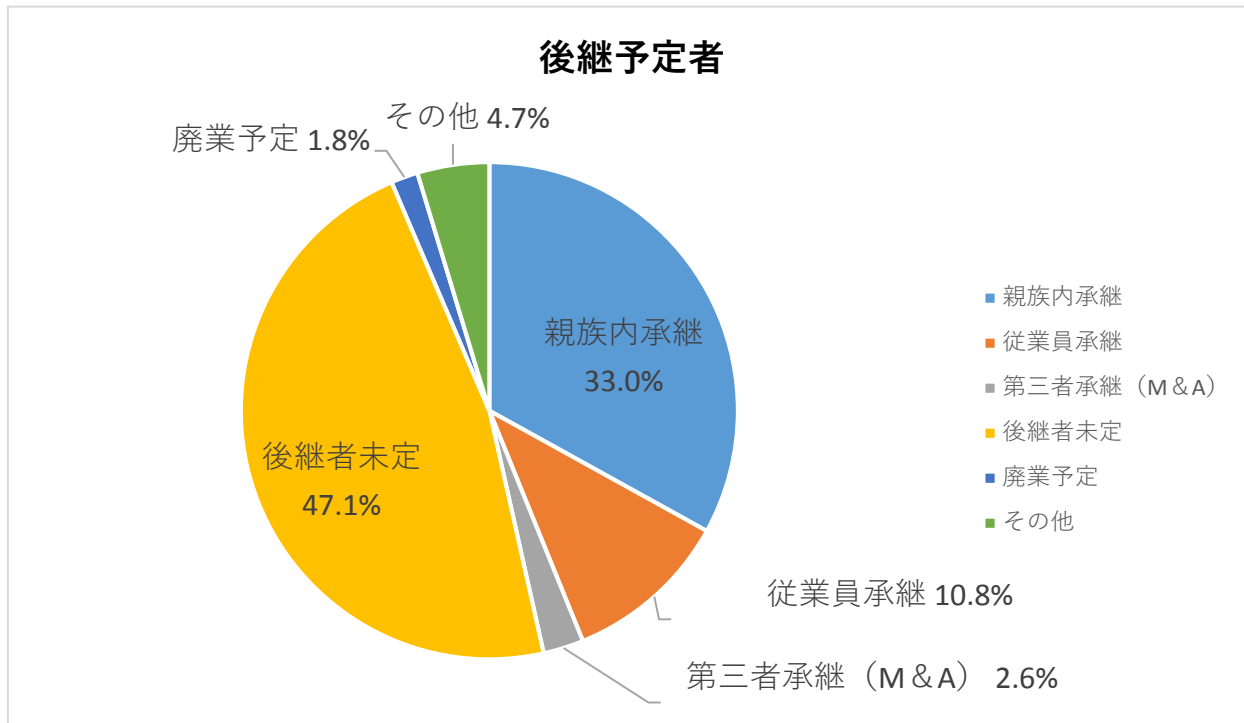
事業承継の取組状況について

設問1 : 現経営者様のご年齢を教えてください。



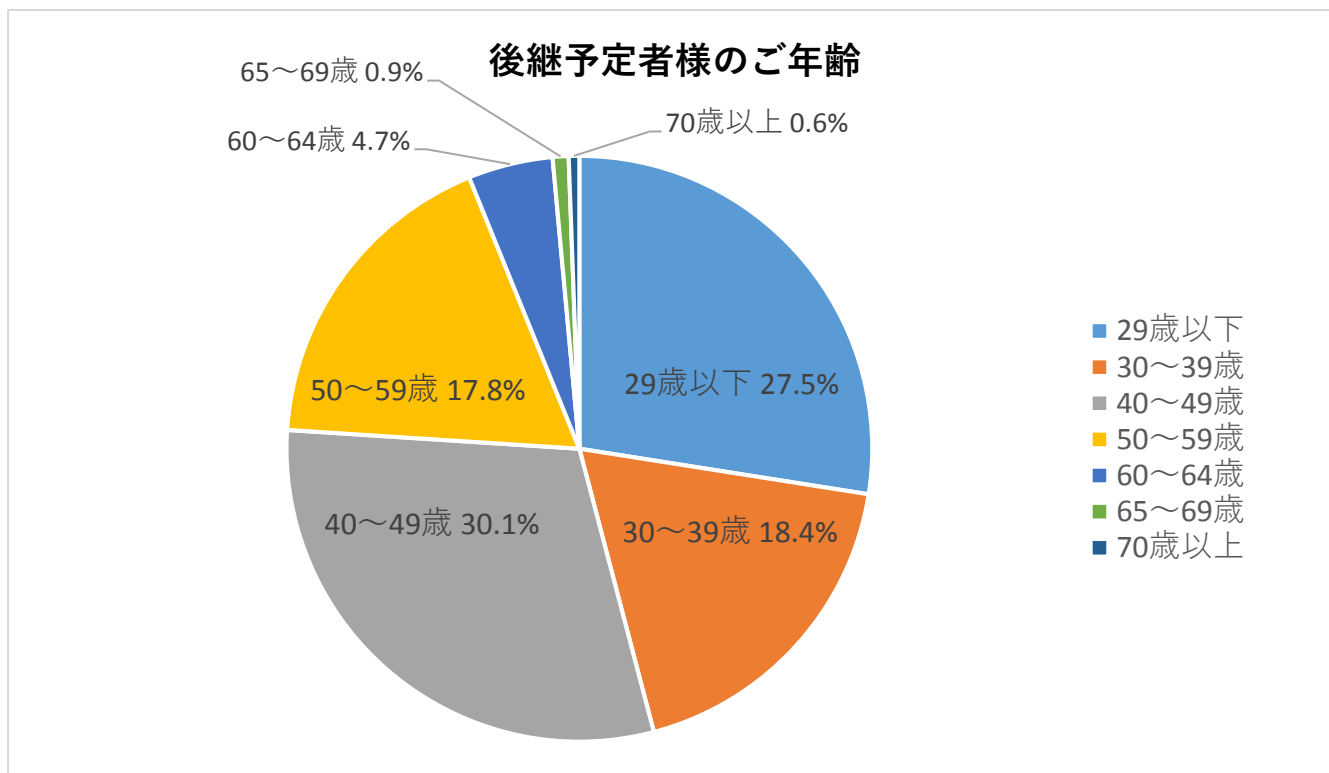
現経営者のご年齢については、「50～59歳」と答えた企業が34.2%と最も多く、次いで「40～49歳」が18.7%、「70歳以上」が14.7%となっています。

設問2 : 後継予定者について教えてください。



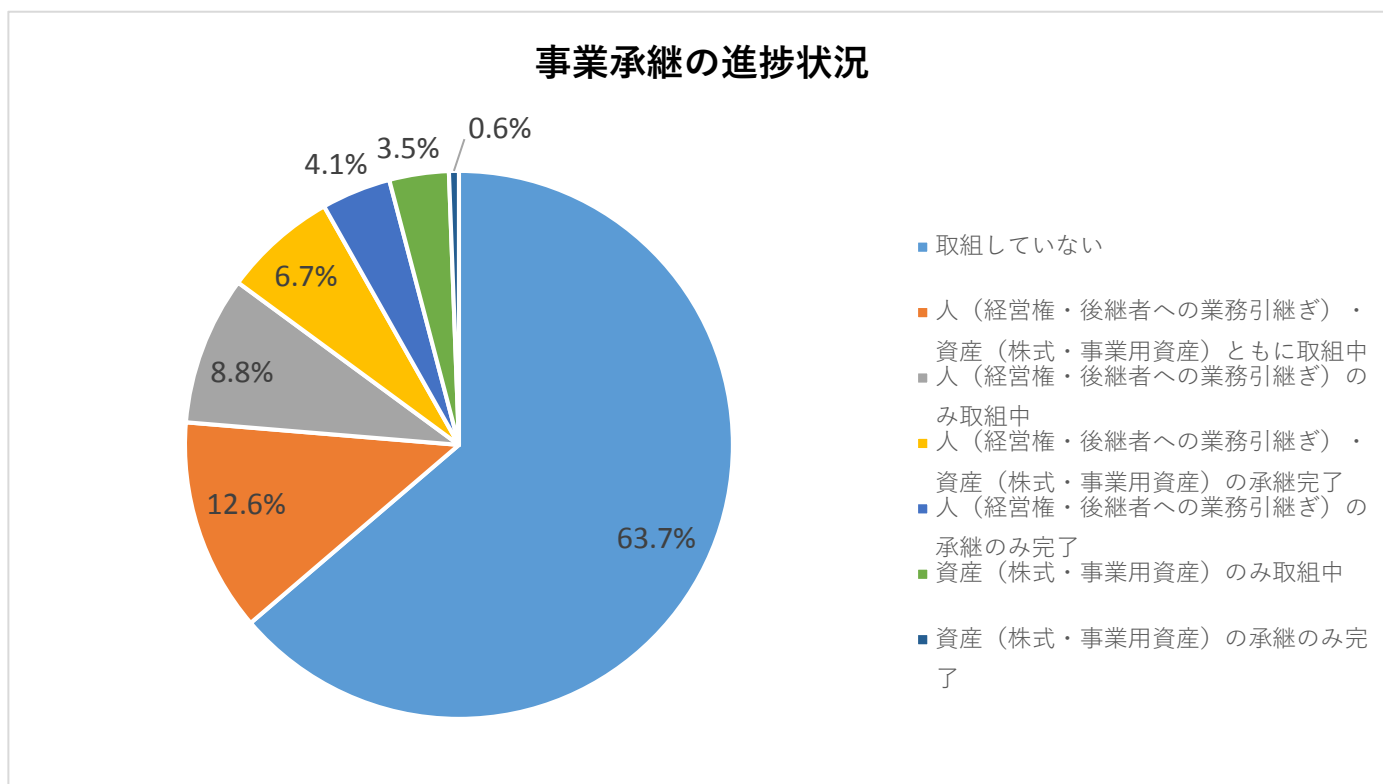
「後継者未定」と答えた企業が47.1%と最も多く、次いで「親族内承継」が33.0%、「従業員承継」が10.8%となっています。

設問3 : 後継予定者のご年齢について教えてください。



後継予定者のご年齢については、「40~49歳」と答えた企業が30.1%と最も多く、次いで「29歳以下」が27.5%、「30~39歳」が18.4%、「50~59歳」が17.8%となっています。後継予定者のご年齢が50歳以上と回答された企業については、10年以内に再度、人的承継を検討しなければいけないことが想定されます。

設問4 : 事業承継の進捗状況を教えてください。

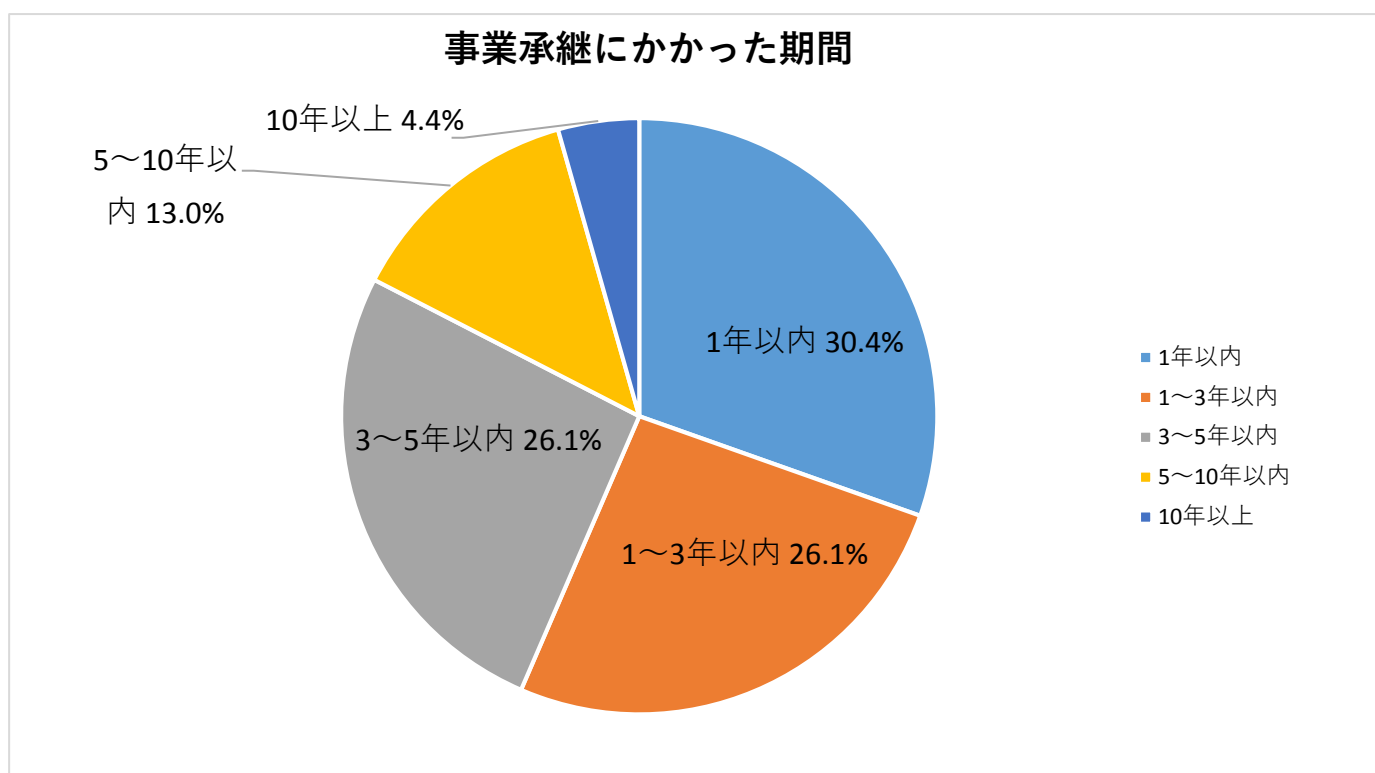


「取組していない」と答えた企業が最も多く63.7%となっています。要因としては後継者が未確定であることや、代表者の年齢がまだ若く承継を検討するタイミングが時期尚早であることが挙げられます。

次いで、「人（経営権・後継者への業務引継ぎ）・資産（株式・事業用資産）ともに取組中」と答えた企業が12.6%となっています。

設問5 : 事業承継完了までにかかった期間を教えてください。

※設問4で「人・資産の承継完了」と回答された方のみ回答

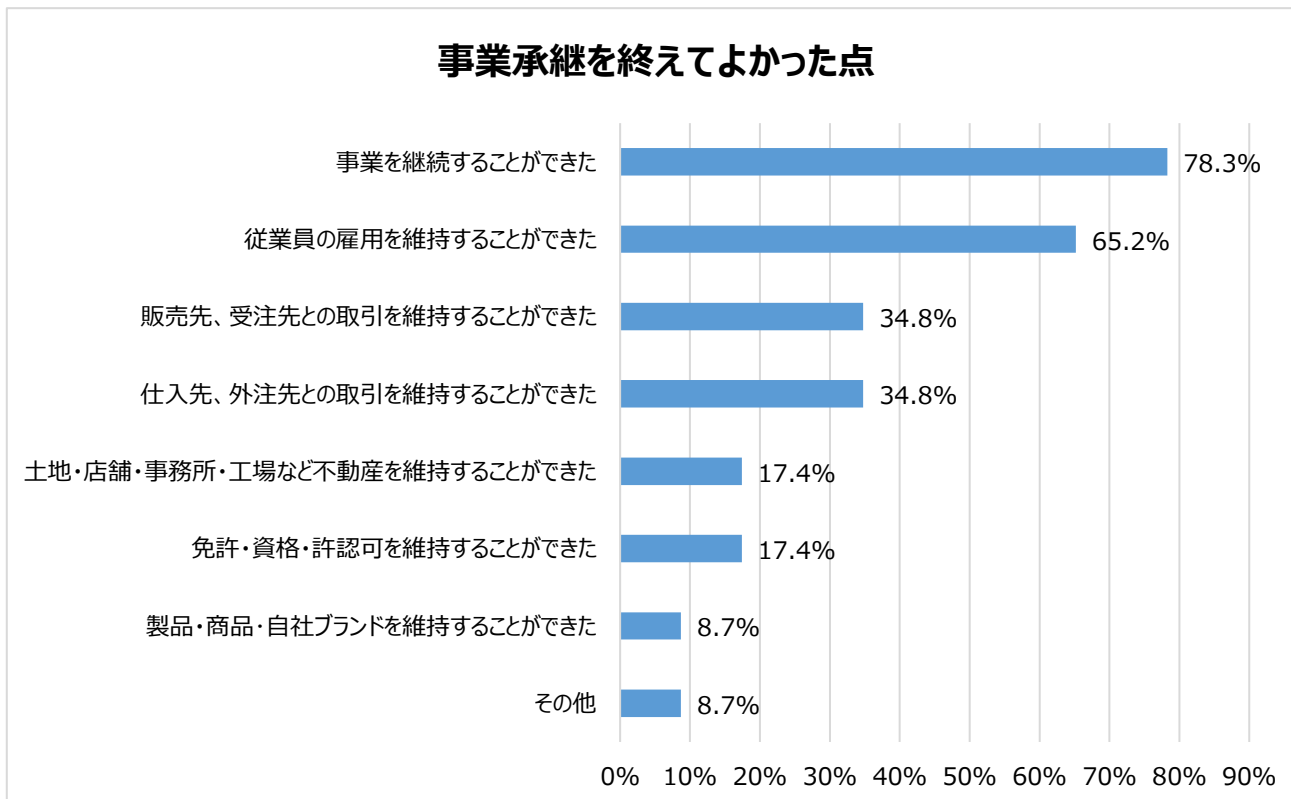


「1年以内」と答えた企業が30.4%と最も多く、次いで「1～3年以内」、「3～5年以内」がともに26.1%となっています。

具体的な後継者がいる場合、短期間で資産（株式・事業用資産）の移転を完了させることができますが、後継者の選定から検討している企業の多くは、長期的な取組が必要となる傾向があります。

設問6：事業承継を終えられてよかった点を教えてください。

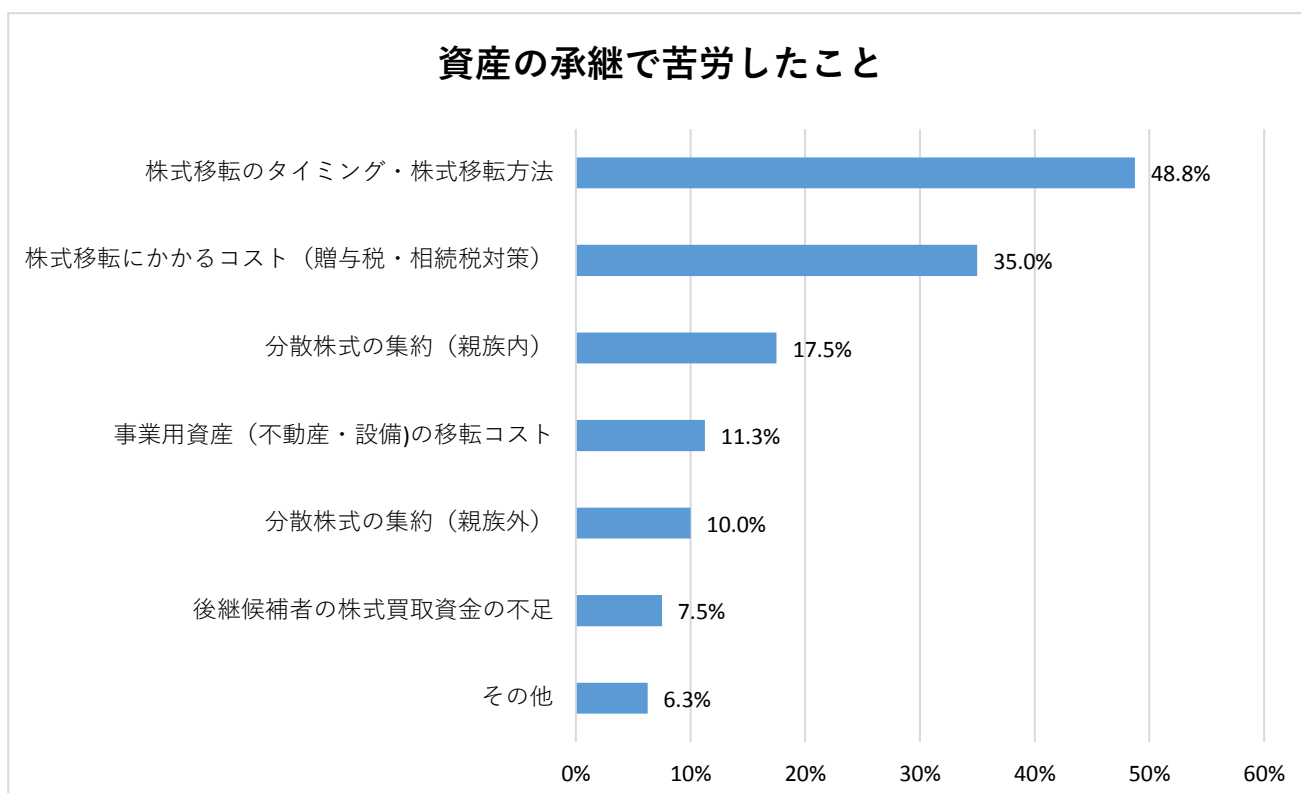
※設問4で「人・資産の承継完了」と回答された方のみ回答（複数回答可）



「事業を継続することができた」と答えた企業が78.3%となっています。次いで、「従業員の雇用を維持することができた」が65.2%となっています。

設問7：資産（株式・事業用資産）の承継で苦労したこと・苦労していることを教えてください。

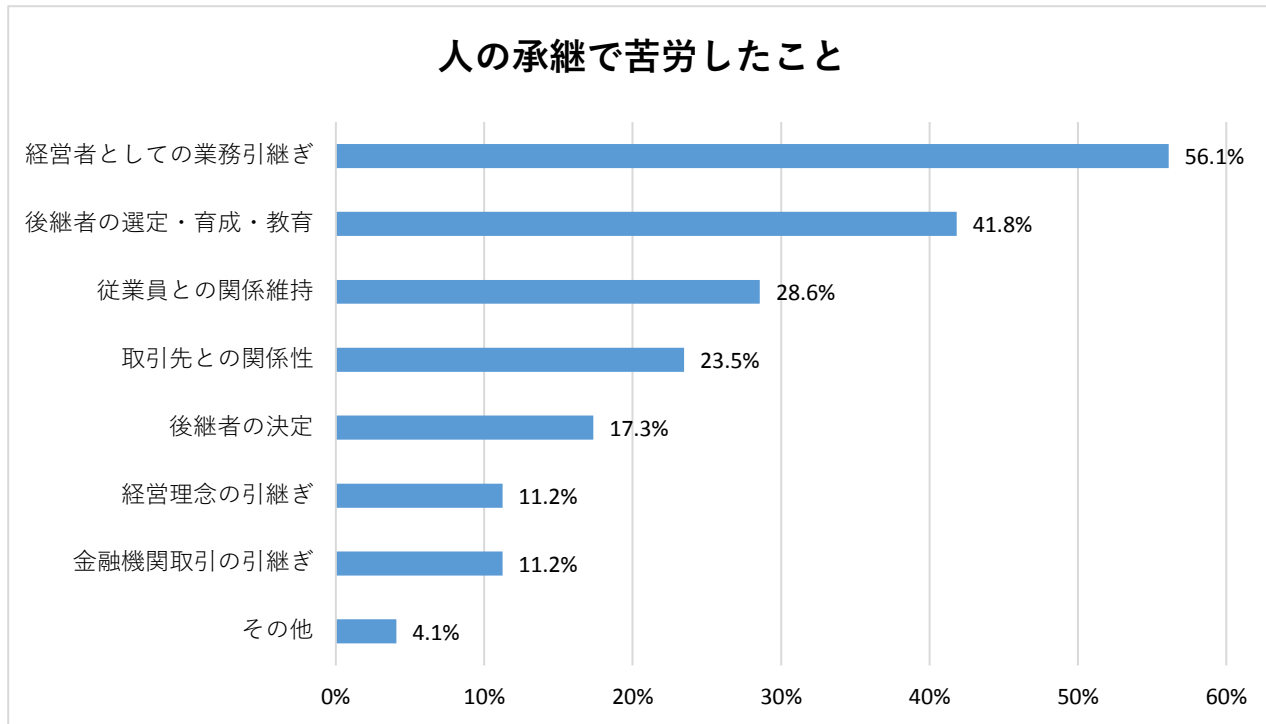
※設問4で「人・資産の承継完了」、「資産の承継のみ完了」、「人・資産の承継ともに取組中」、「資産の承継のみ取組中」と回答された方のみ回答（複数回答可）



「株式移転のタイミング・株式移転方法」と答えた企業が48.8%と最も多く、次いで「株式移転にかかるコスト（贈与税・相続税対策）」が35.0%、「分散株式の集約（親族内）」が17.5%となっており、株式移転に苦労した企業が多い結果となっています。

設問8 : 人（経営権・後継者への業務引継ぎ）の承継で苦労したこと・苦労していることを教えてください。

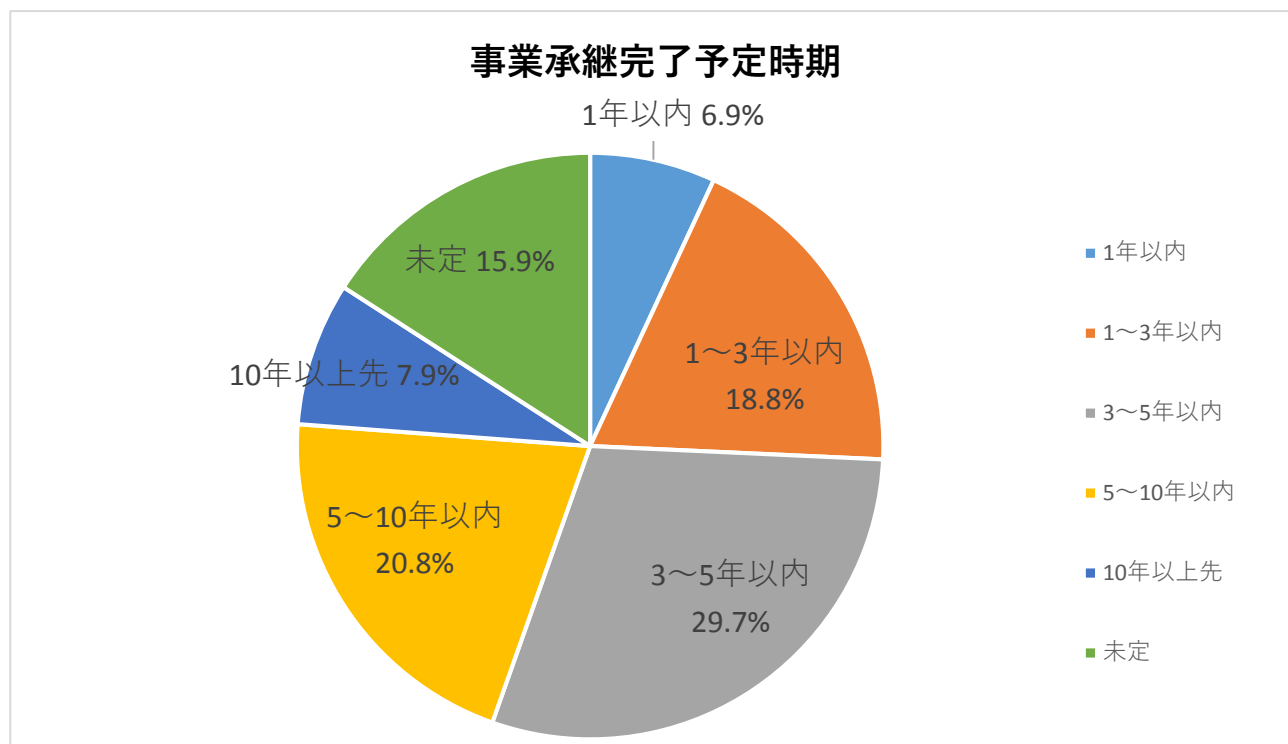
※設問4で「人・資産の承継完了」、「人の承継のみ完了」、「人・資産の承継ともに取組中」、「人の承継のみ取組中」と回答された方のみ回答（複数回答可）



「経営者としての業務引継ぎ」と答えた企業が56.1%となっています。次いで「後継者の選定・育成・教育」が41.8%となっています。

設問9 : 事業承継の完了予定時期について教えてください。

※設問4で「人の承継のみ完了」、「資産の承継のみ完了」、「人・資産の承継ともに取組中」、「人の承継のみ取組中」、「資産の承継のみ取組中」と回答された方のみ回答

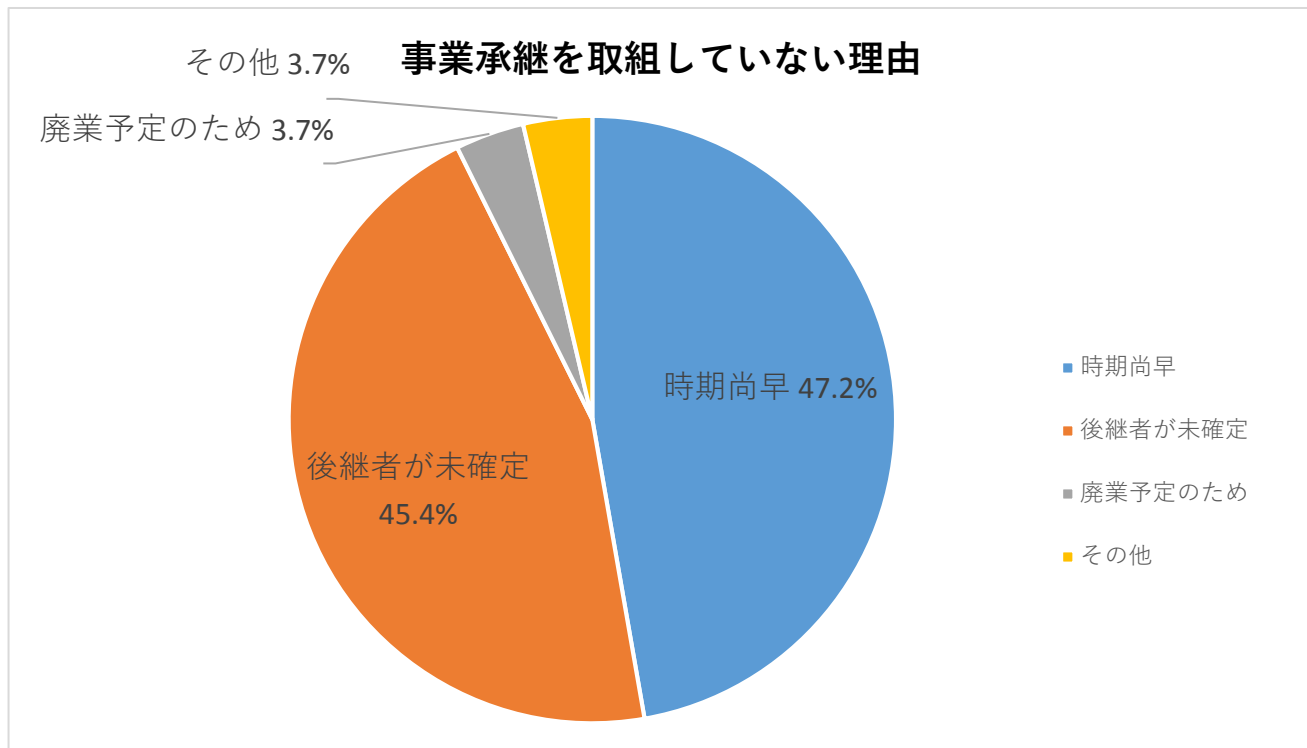


「3～5年以内」と答えた企業が29.7%と最も多く、次いで「5～10年以内」が20.8%となっています。

人的承継と物的（資産）承継の双方が完了するには、中長期の取組が必要と想定されます。

設問10 : 事業承継を取組していない理由を教えてください。

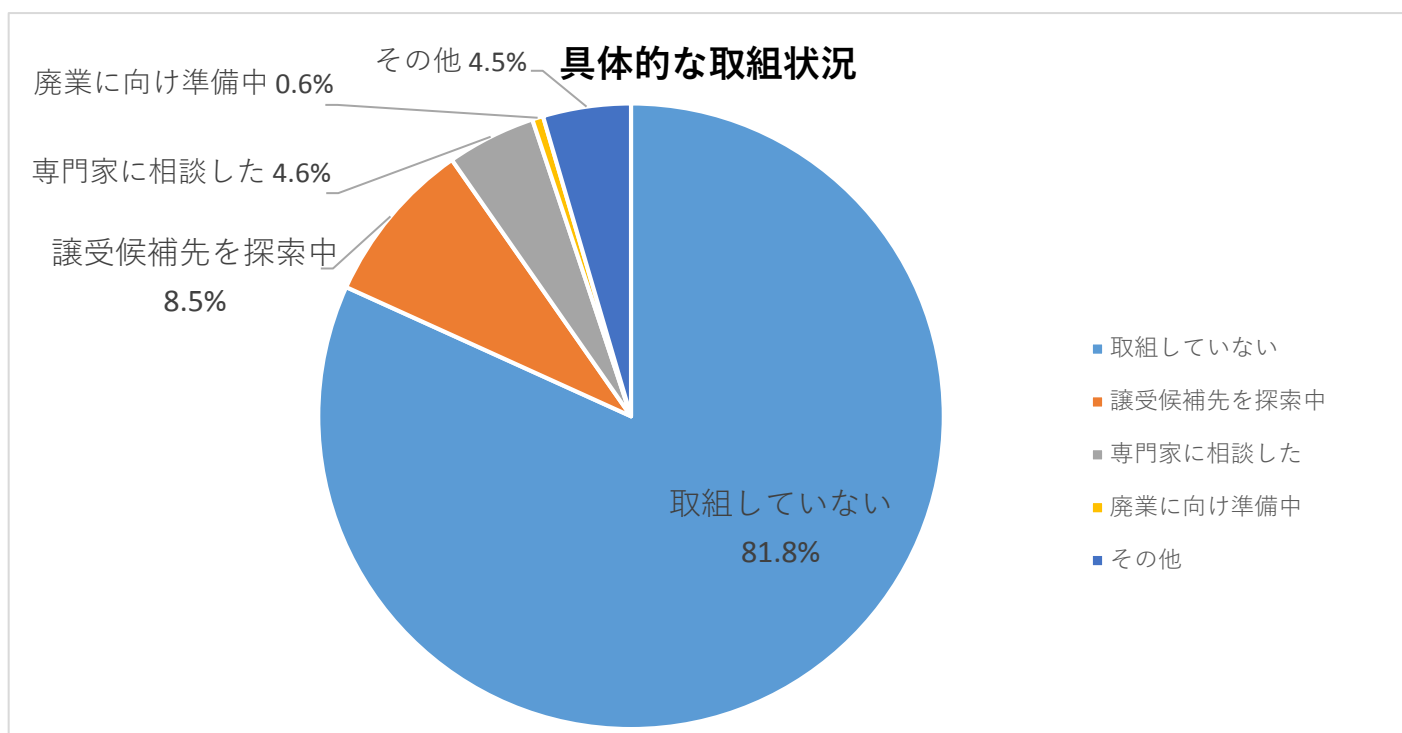
※設問4で「取組していない」と回答された方のみ回答



「時期尚早」と答えた企業が47.2%、次いで「後継者が未確定」が45.4%となっています。社内に親族がおらず、社員の中でも適任者がいないなど、後継者の選定に苦慮している企業が多く、人的承継が進まず事業承継を取組できないケースが多く見受けられます。

設問11 : 具体的な取組状況を教えてください。

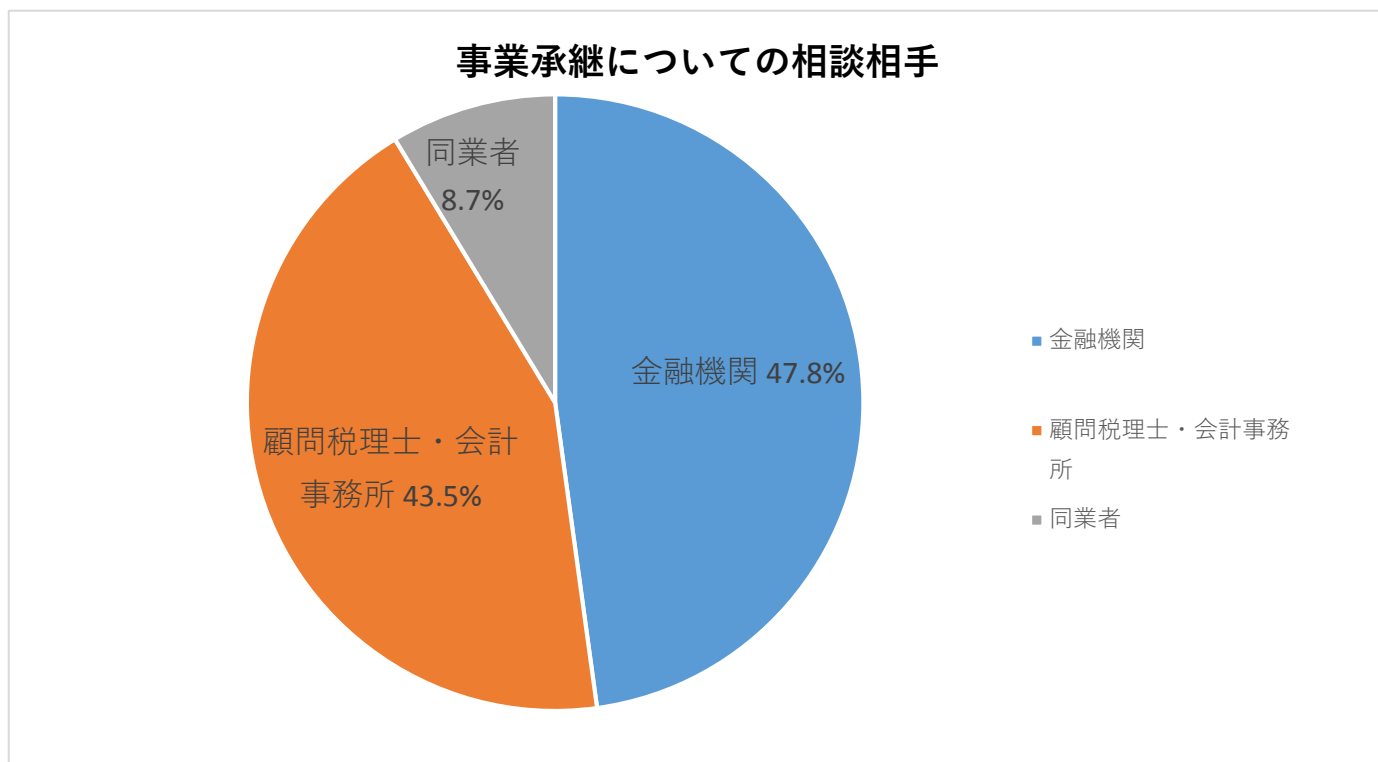
※設問2で「第三者承継（M&A）」、「後継者未定」、「廃業予定」と回答された方のみ回答



「取組していない」と答えた企業が81.8%と最も多くなっています。一方で、第三者承継（M&A）に向け譲受候補先を探索している企業や専門家に相談し、事業承継の課題解決に向け、具体的に取組んでいる企業も一定数います。

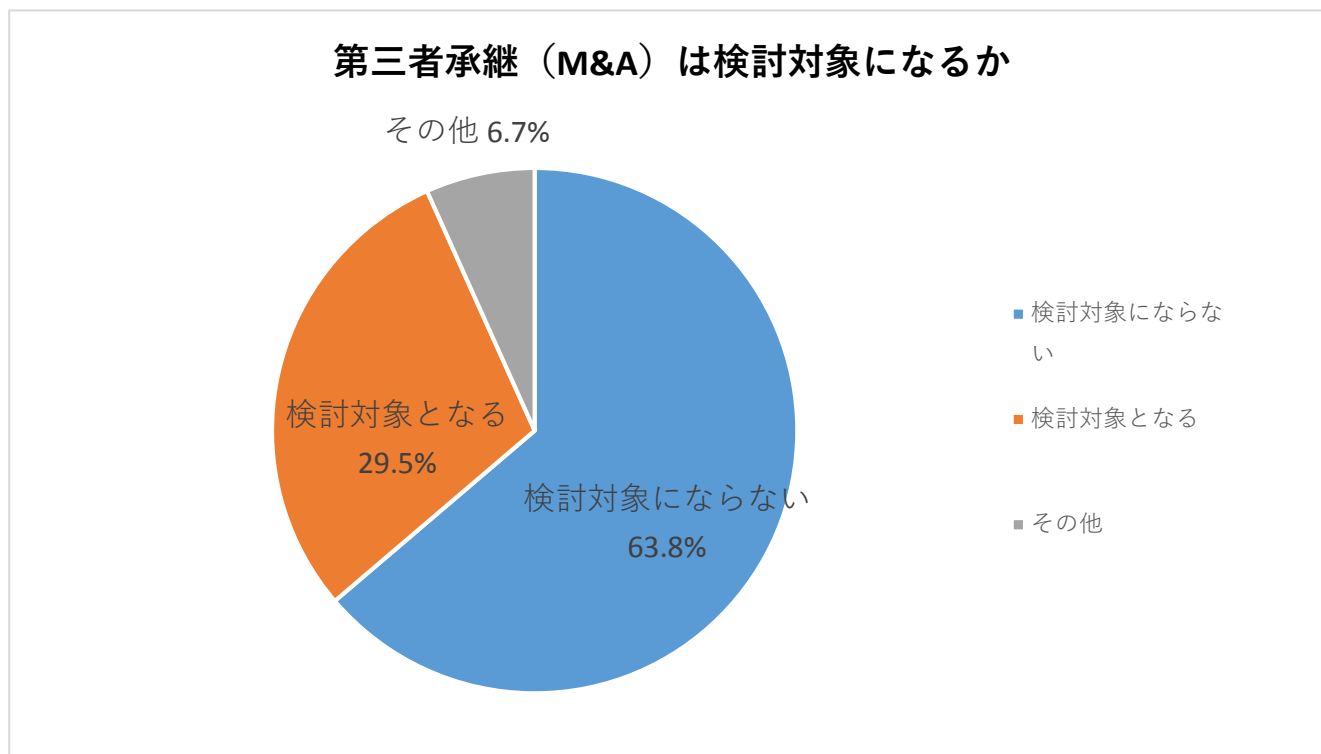
設問12 : 誰に相談されたか教えてください。

※設問11で「譲渡候補先を探索中」、「専門家に相談した」と回答された方のみ回答



「金融機関」と答えた企業が47.8%と最も多く、次いで「顧問税理士・会計事務所」が43.5%となっています。「金融機関」、「顧問税理士・会計事務所」は、取引先に対する事業承継支援体制が整備されている点が、相談相手に選ばれる要因として挙げられます。

設問13 : 事業承継の出口として第三者承継（M&A）は検討対象となりますか。

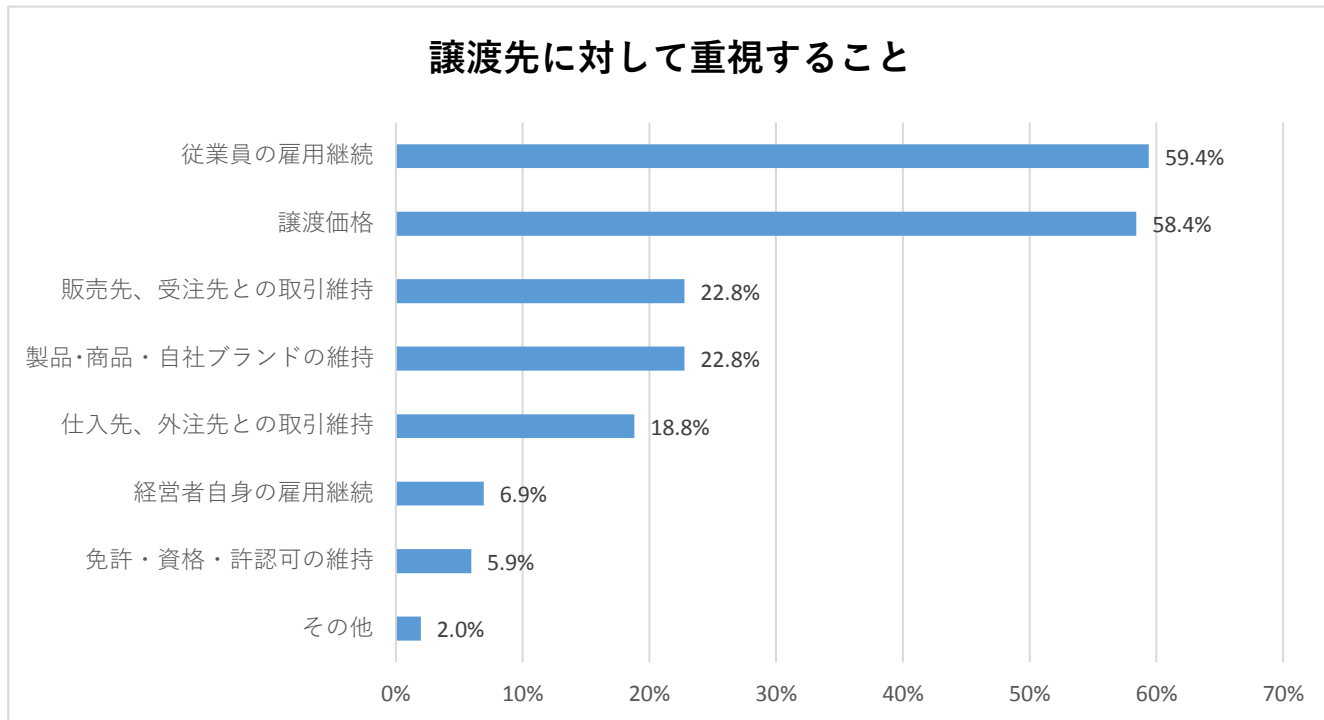


「検討対象にならない」と答えた企業が63.8%、「検討対象となる」と答えた企業が29.5%となっています。

同族承継（親族内承継）は年々減少、脱ファミリーの動きが鮮明になってきたこと、且つ金融機関を含めた支援機関のM & A支援体制が十分に整ったことを背景に、今後は事業承継の出口としてM & Aを検討対象にする企業が増加していくと考えられます。

設問14 : 譲渡先に対して重視することは何ですか。

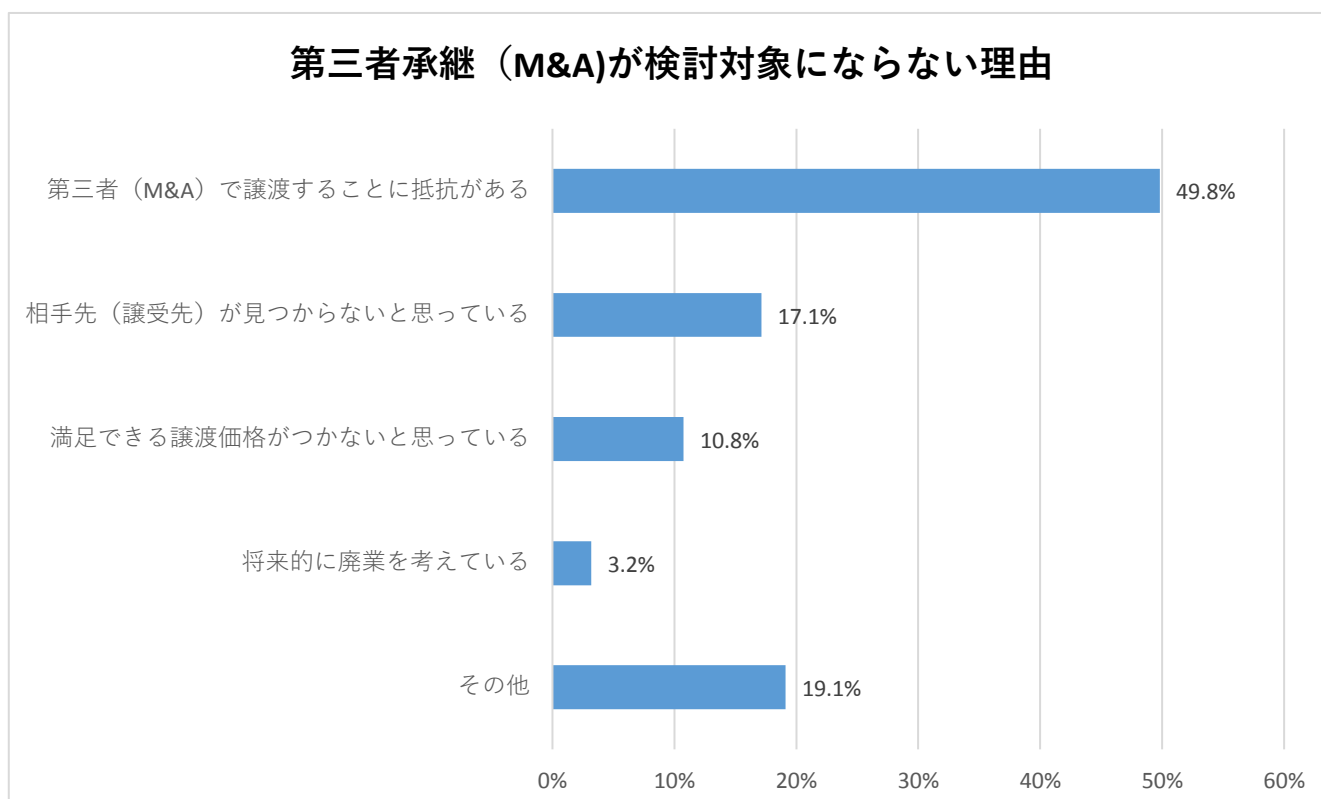
※設問13で第三者承継(M&A)が「検討対象となる」と回答された方のみ回答（複数回答可）



「従業員の雇用維持」と答えた企業が59.4%、次いで「譲渡価額」が58.4%となっています。

設問15 : 検討対象にならない理由について教えてください。

※設問13で第三者承継(M&A)が「検討対象にならない」と回答された方のみ回答（複数回答可）



「第三者 (M&A) で譲渡することに抵抗がある」と答えた企業が49.8%、次いで「相手先 (譲受先) が見つからないと思っている」が17.1%となっています。親族内承継、従業員承継を希望するオーナーも多いことから、M & Aにて譲渡することに抵抗を感じるという回答が最も多くなっています。

メモ

法人コンサルティングサービスのご案内

お客さまのお取り組み

売上増加

成長戦略

経営改善

事業承継

IT・効率化

人事施策

サステナブル

気候変動

ガバナンス



将来のあるべき姿
を考えたい

経営課題を
解決したい

サステナブル経営
を実現したい

幅広いメニューであらゆるステージに対応しています

コンサルティング面でのサポート

【コンサルティングサービス（伴走支援）】

- 成長戦略策定支援サービス
- 経営改善支援サービス
- 各種補助金申請のご支援
- BCP計画策定サポート
- DXコンサルティング
- 人事評価制度・賃金体系

【SDGs取組支援サービス】

- お客さまのSDGs宣言のサポートから、SDGsに資する取組みの実行をサポートいたします

【カーボンニュートラルサービス】

- お客さまのCO2排出量の算出
- CO2削減ソリューションのご提案
- 再生可能エネルギー導入のご提案
- SBT認証（国際認証）の取得

【ビジネスマッチング】

- 経営課題を解決する最適なツールをご提案
- 企業同士のニーズとシーズの引き合わせ
- アウトソーシングニーズ、コストダウンニーズ、不動産ニーズ、リースニーズにも対応

【人材紹介】

- 必要な人材を紹介し、お客さまの経営力強化に貢献します

【事業承継・M&A】

- 事業承継、M&A、親族承継から第三者承継まで、あらゆる状況に応じた最適なお支援を実施します

サステナブル面でのサポート

【ファーストSDGs私募債（寄贈型）】

- 手数料の優遇金額分を、ご利用のお客さまの目的に応じて寄付を行なう仕組みです

【ファースト・サステナビリティ・リンクローン】

- 本枠組みで、お客さまのサステナビリティの将来計画するお取組みに対して、第三者評価機関から評価を得て対外的にアピールします
- お客さまの経営理念、行動指針の具現化へのESG目標を定め行動することで、お客様の持続可能性と社会への貢献を高めることをサポートします

【ファースト・グリーンローン】

- 高い環境効果があるグリーンプロジェクトをファイナンスでサポートいたします。本枠組みの中で、外部評価機関の認証を取得し、お客さまのお取組みを対外的にアピールします

【ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

- 経済・環境・社会の3つの側面について、企業活動から生まれるポジティブ・ネガティブなインパクトを定量化し、独自の目標を設定する一連のお取組みに対して分析・評価し、対外的にアピールします

【省エネルギー設備投資に係る利子補給】

- 省エネ設備投資に対する金融支援

【地域脱炭素融資促進利子補給】

- 低炭素設備投資に対する金融支援（再生可能エネルギー等）

中小企業のお悩みに効く!

 富山第一銀行

売上UP
どうすれば…

販路拡大
方法は…

人材育成
進まない…

後継者
決められない…

企業の常備薬として

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。
地域に根ざしているからこそ力になれる
その思い富山第一銀行に聞かせてください。

 富山第一銀行 <https://www.first-bank.co.jp/business/>